

令和7年度(2025)

学校要覧



福井県立科学技術高等学校

Fukui Prefectural Senior High School of Science and Technology

〒918-8037 福井市下江守町 28 番地

TEL (0776) 36-1856

FAX (0776) 36-1871

<https://www.kagakugijutsu-h.ed.jp/>

福井県立科学技術高等学校 校歌

勝 承夫 作詞
高木 東六 作曲

行進の速度 ♩ = 100 くらい

堂々と胸をはって

し ぜ ん の の さ み ち と り き も す
わ り に ひ ひ ち ら く す

び し さ を こ こ ろ の か て と う
ん じゅ ー さ ん の こ は こ る か り は た か く ー う
い せ ー ー の か お り は た か く ー ー ー ー ー ー ー

元気ハツラツと

け ー つ い で り じ だ の え い ち か が く の せ い か
ぶ ー
た ー

力強くたくましく

こ こ に お さ め て す す む よ る こ び つ よ く た え ぬ く わ
ゆ め と の ゆ ー じ ゃ う つ ね に も え た つ じ し ゅ の た ま な る び さ や と わ
ひ の の な が れ も あ す を う た う よ は え の ふ る び さ と あ い

張りきって

う ど わ れ ら り つ よ く た え ぬ く わ
ら の ほ こ こ り じ し ゅ の た ま な る び さ や と わ
す る ほ こ こ り は え の ふ る び さ と あ い

1. 2. 3. *mf*

う ど わ れ ら り 2) 3) あ え す も う

一、自然の幸と 喜びしさを
こころの糧と うけついで
時代の英知 科学の精華
ここに修めて 進むよろこび
つよく耐えぬく 若人われら

二、足羽のみどり 文珠山
はるかに清く 呼ぶところ
真理を窮め 社会につくす
夢と友情 つねに燃えたつ
自主の学び舎 われらの誇り

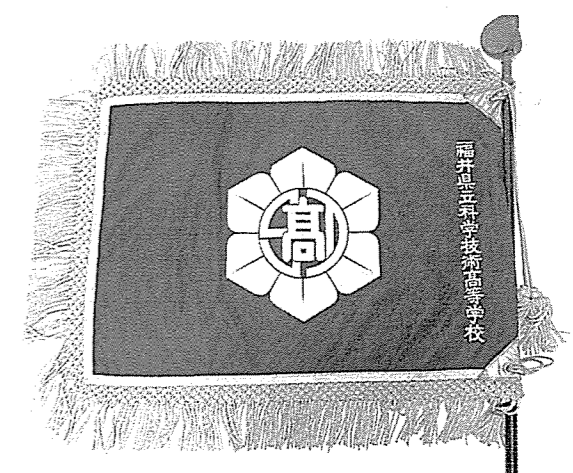
三、江守にひらく 水仙の
香りは高く 新しく
文化を築く 理想をこめて
日野の流れも 明日を歌うよ
栄のふるさと 愛する母校

● 教育信条

よりよい社会をつくる人となろう

● 教育目標

- 1 真理を窮め 正義を愛する
- 2 自由を尊び 責任を重んずる
- 3 生命を尊び 博愛に生きる
- 4 創造力を養い 技術を磨く
- 5 体力を培い 情操を豊かにする



● スクールミッション

専門高校として、福井におけるものづくりのスペシャリストを育成する。そのために、地元産業界等の協力を得ながら地域課題解決型の授業を実施することにより、専攻学科の基礎基本の知識の定着と新しい時代に必要な高度な知識・技術を習得し、企業が持つ優れた技術を受け継ぐ。また、地元小中学校との連携を通じて職業系高校への理解を深め、地域と共に成長できる教育環境を提供する。

校章について
水仙の花に、Science (科学) Technology (技術) の頭文字、S・Tを配したものである。

目次

教育信条・教育目標・スクールミッション	1
建学の精神・沿革	2
校務分掌	3
教育課程	4
生徒状況	7
各学科の概要	8
進路状況	10
職員構成数・部活動一覧・図書室蔵書数	11
学校行事風景	12
鳥瞰図	14
平面図	15
施設概要・学校の位置	16

建学の精神

- 1 現代科学と技術の進歩に対応できる創造性豊かな人間の育成を目指す。
- 2 よりよい社会の形成者としてふさわしい資質をそなえた心身ともに健康な人間の育成を目指す。

沿革

【福井県工業講習所】

- 明治40年 (1907) 福井市松本3丁目16号(当時の地籍名 福井市簸川中町と吉田郡円山西村松本地方にまたがる)に福井県工業講習所(染織科)創設
- 大正4年 福井県立工業学校と改称
- 昭和11年 第2部(中等学校卒業修業年限1カ年)開設
- “ 14年3月 新たに機械科を設置
- “ 19年 染織科を廃し、紡織科を設置 新たに工業化学科を設置
- “ 23年 学制改革に伴い、福井県立工業学校および福井県立福井農林学校を総合して、福井県立福井第二高等学校と称する。
- “ 24年 福井県立福井第一高等学校および福井県立福井第二高等学校工業課程を総合して、福井県立藤島高等学校と称する。

【福井県立福井工業高等学校】

- 昭和32年 福井県立藤島高等学校工業課程が分離独立し、福井県立福井工業高等学校となる。校舎を福井市山奥町兎越に建設
- “ 44年4月 紡織科を繊維工業科に科名変更
- “ 45年4月 工業化学科を1学級、繊維工業科を2学級とし、繊維機械と色染化学の2コースに分ける。
- “ 46年3月 福井県立福井工業高等学校創立60年史を刊行
- “ 51年 第19回生の卒業をもって、発展的に福井県立科学技術高等学校へ合併

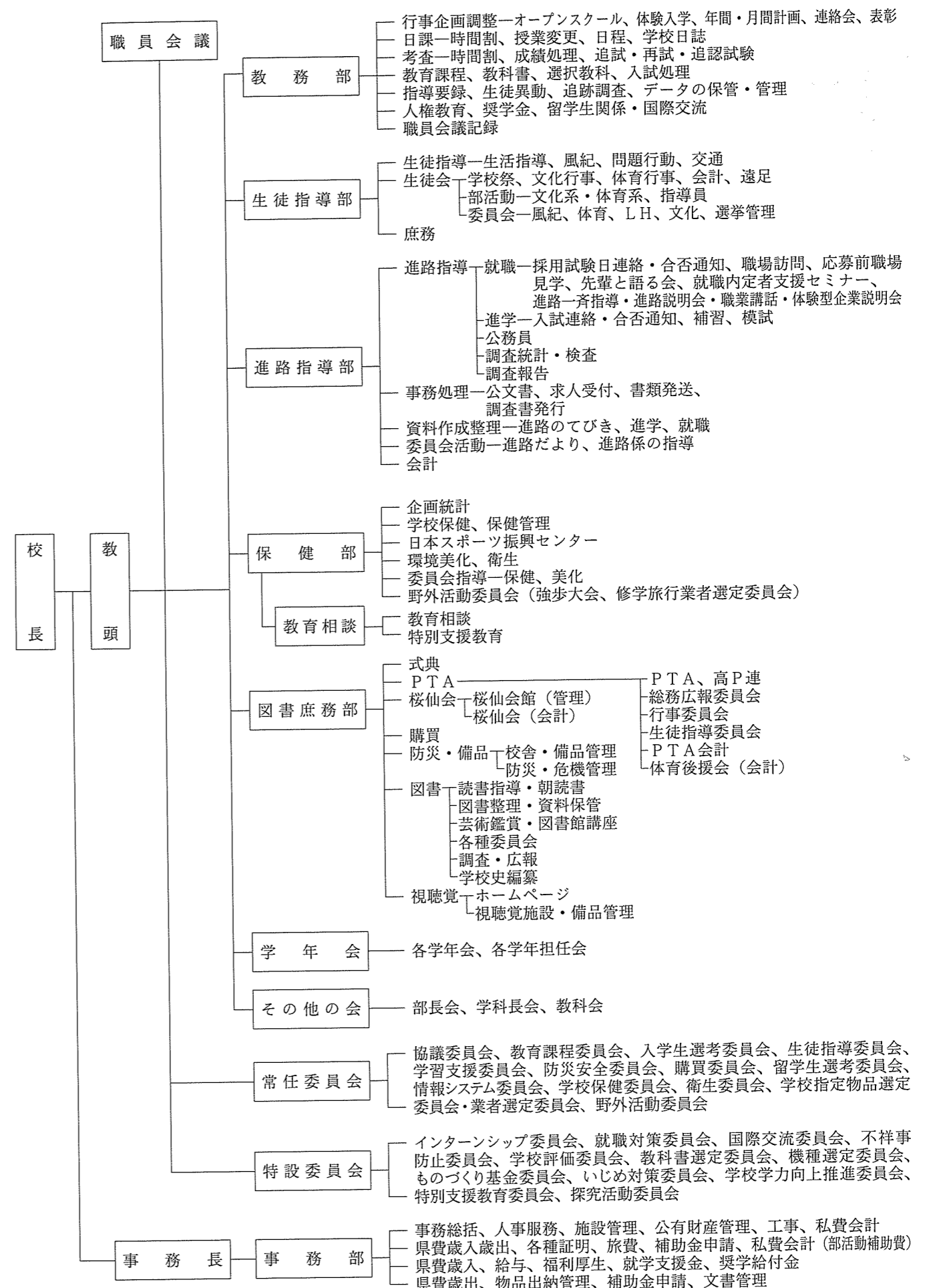
【福井県立科学技術高等学校設立準備】

- 昭和43年11月 福井県立福井工業高等学校移転促進期成同盟会発足
- “ 45年6月 県教育委員会は新構想にもとづく産業高校を新設して福井県立福井工業高等学校を吸収合併する方針を発表
- “ 48年2月 県教育委員会は新設高校の名称を福井県立科学技術高等学校とし、機械工学科、金属工学科、環境化学科、繊維工学科、色染化学科、電子工学科、情報技術科、衛生看護科をおき、定員は8学科320名とすることに決定

【福井県立科学技術高等学校】

- 昭和49年4月 第1回入学式(329名)を福井県立福井工業高等学校に於いて行う。
- “ 49年9月 普通教棟、管理教棟が完成し、9月9日開校式を挙 行 第1学年は新校舎に移転
- “ 50年7月 体育館完成
- “ 50年8月 第1実験実習棟完成
- “ 51年5月 第2、第3実験実習棟完成
- “ 52年11月 プール完成
- “ 59年10月 福井県立科学技術高等学校創立10年史を刊行
- “ 59年11月 同窓会館(桜仙会館)完成
- “ 61年5月 第2体育館完成
- “ 62年4月 金属工学科と環境化学科を廃し、電子機械科と工業化学科を設置
- 平成3年3月 射撃場完成
- “ 5年4月 工業化学科、繊維工学科、色染化学科を廃し、化学システム科、テキスタイルデザイン科を設置 7学科となる。
- “ 8年4月 機械工学科、電子機械科、電子工学科、情報技術科を廃し、機械システム科、電子電気科、情報工学科を設置 6学科となる。
- “ 9年3月 創立90周年を記念して校地内全域に桜を植樹
- “ 10年11月 創立100周年記念事業の一環としての中庭改修整備工事完成
- “ 16年4月 衛生看護科を廃し、工業科のみの5学科となる。
- “ 18年2月 普通教棟リフレッシュ工事完成
- “ 18年12月 特別教棟リフレッシュ工事完成
- “ 19年11月 創立百周年記念式典を挙 行
- “ 20年1月 管理・特別教棟リフレッシュ工事完成
- “ 20年2月 創立百周年記念事業の一環としてのメディアホール完成
- “ 20年3月 創立百年史を刊行
- “ 26年12月 第一実験実務教棟耐震工事完了
- “ 29年10月 創立110周年を記念して中庭に楠を植樹
- “ 29年12月 第1体育館リフレッシュ工事完成
- 令和4年4月 化学システム科を化学創造科に、テキスタイルデザイン科を産業デザイン科に科名変更

校務分掌



令和7年度 教育課程 (令和7年度入学生)

教科	科目	機械システム科				化学創造科				産業デザイン科				電子電気科				情報工学科						
		1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計			
国語	現代の国語	1	1		2	1	1		2	1	1		2	1	1		2	1	1		2			
	言語文化	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2			
地理	地理総合		1	2	3		1	2	3		1	2	3		1	2	3		1	2	3			
	歴史総合	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2			
公民	公民		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2			
	数学Ⅰ	3			3	3			3	3			3	3			3	3			3			
数学	数学Ⅱ		3	2	5		3	2	5		3	2	5		3	2	5		3	2	5			
	数学A		<2>		0.2		<2>		0.2		<2>		0.2		<2>		0.2		<2>		0.2			
理科	科学と人間生活			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			
	物理基礎	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2			
保健体育	体育	2	2	3	7	2	2	3	7	2	2	3	7	2	2	3	7	2	2	3	7			
	保健	1	1		2	1	1		2	1	1		2	1	1		2	1	1		2			
芸術	音楽Ⅰ	2			0.2	2			0.2	2			0.2	2			0.2	2			0.2			
	美術Ⅰ	2	2		0.2	2	2		0.2	2	2		0.2	2	2		0.2	2	2		0.2			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3			3	3			3	3			3	3			3	3			3			
	英語コミュニケーションⅡ		3	2	5		3	2	5		3	2	5		3	2	5		3	2	5			
家庭	家庭基礎		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2			
	普通科目計	18	17	13	48	18	17	13	48	18	17	13	48	18	17	13	48	18	17	13	48			
工業	工業技術基礎	3			3	3			3	3			3	3			3	3			3			
	課題研究			3	3			3	3			3	3			3	3			3	3			
工業	実習		4	5	9		6	5	11		6	9	15		3	3	6		3	3	6			
	製図	2	2	2	6				2	2	2		4	2			2	3			3			
工業	工業情報数理	2			2	2			2	2			2	2			2	3			3			
	工業材料技術							<2>	0.2				<2>	0.2				<2>	0.2				<2>	0.2
工業	工業管理技術							<2>	0.2				<2>	0.2				<2>	0.2				<2>	0.2
	機械工作	2	2		4																			
工業	機械設計		3	2	5																			
	原動機			<2>	0.2																			
工業	電子機械			<2>	0.2																			
	生産技術	2			2									3	3		6							
工業	電気回路									4	4		8											
	電気機器										2		2											
工業	電力技術											6	6											
	電子技術											<2>	0.2											
工業	電子回路										2		2											
	通信技術											<2>	0.2								<2>	0.2		
工業	プログラミング技術														2	2	4							
	ハードウェア技術									2	3		5					2	3		5			
工業	ソフトウェア技術											2	2								2	2		
	コンピュータシステム技術												<2>	0.2								<2>	0.2	
工業	工業化学				4	3	2	9									4	3	2	9				
	化学工学				2			2									2			2				
工業	地球環境化学						2	2	4										2	2	4			
	繊維製品									2			2											
工業	繊維・染色技術										2	<2>	2.4						2	<2>	2.4			
	デザイン実践									2	1	<2>	3.5					2	1	<2>	3.5			
家庭	産業技術探究		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1			
	フードデザイン			<2>	0.2			<2>	0.2			<2>	0.2			<2>	0.2			<2>	0.2			
家庭	技術と数理基礎			<2>	0.2			<2>	0.2			<2>	0.2			<2>	0.2			<2>	0.2			
	数理探究																							
工業	専門科目計	11	12	12	35	11	12	12	35	11	12	12	35	11	12	12	35	11	12	12	35			
	選択科目計			<4>	<4>			<4>	<4>			<4>	<4>			<4>	<4>			<4>	<4>			
工業	ホームルーム	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3			
	総合的な探究の時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
工業	合計	30	30	30	90	30	30	30	90	30	30	30	90	30	30	30	90	30	30	30	90			

- (1) 「総合的な探究の時間」は、全学科において専門科目「課題研究」で代替する。
- (2) 共通教科「情報」の科目「情報Ⅰ」は、全学科において専門教科「工業」の科目「工業情報数理」で代替する。
- (3) 1年の芸術は、音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰからいずれかを選択する。
- (4) <>の単位数の科目は3年の選択科目で、数学・芸術(学設)・英語・工業専門(2講座)・家庭(専門)・技術と数理基礎(学設)、各2単位の中から2科目4単位を選択する。
- (5) 「産業技術探究」は工業に関する学校設定科目である。
- (6) 「ふくいの産業」は工業に関する専門科目(機械システム科:生産技術、化学創造科:工業化学、産業デザイン科:工業情報数理、電子電気科:電気回路、情報工学科:生産技術)の中で実施する。
- (7) 「技術と数理基礎」は学校設定教科「数理探究」に関する学校設定科目である。
- (8) 「造形基礎」は芸術に関する学校設定科目である。

令和7年度 教育課程 (令和6年度入学生)

教科	科目	機械システム科				化学創造科				産業デザイン科				電子電気科				情報工学科						
		1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計			
国語	現代の国語	1	1		2	1	1		2	1	1		2	1	1		2	1	1		2			
	言語文化	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2			
地理	地理総合		1	2	3		1	2	3		1	2	3		1	2	3		1	2	3			
	歴史総合	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2			
公民	公民		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2			
	数学Ⅰ	3			3	3			3	3			3	3			3	3			3			
数学	数学Ⅱ		3	2	5		3	2	5		3	2	5		3	2	5		3	2	5			
	数学A		<2>		0.2		<2>		0.2		<2>		0.2		<2>		0.2		<2>		0.2			
理科	科学と人間生活			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			
	物理基礎	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2			
保健体育	体育	2	2	3	7	2	2	3	7	2	2	3	7	2	2	3	7	2	2	3	7			
	保健	1	1		2	1	1		2	1	1		2	1	1		2	1	1		2			
芸術	音楽Ⅰ	2			0.2	2			0.2	2			0.2	2			0.2	2			0.2			
	美術Ⅰ	2	2		0.2	2	2		0.2	2	2		0.2	2	2		0.2	2	2		0.2			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3			3	3			3	3			3	3			3	3			3			
	英語コミュニケーションⅡ		3	2	5		3	2	5		3	2	5		3	2	5		3	2	5			
家庭	家庭基礎		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2			
	普通科目計	18	17	13	48	18	17	13	48	18	17	13	48	18	17	13	48	18	17	13	48			
工業	工業技術基礎	3			3	3			3	3			3	3			3	3			3			
	課題研究			3	3			3	3			3	3			3	3			3	3			
工業	実習		4	5	9		6	5	11		6	9	15		3	3	6		3	3	6			
	製図	2	2	2	6				2	2	2		4	2			2	2			2			
工業	工業情報数理	2			2	2			2	2			2	2			2	3			3			
	工業材料技術							<2>	0.2				<2>	0.2				<2>	0.2				<2>	0.2
工業	工業管理技術							<2>	0.2				<2>	0.2				<2>	0.2				<2>	0.2
	機械工作	2	2		4																			
工業	機械設計		3	2	5																			
	原動機			<2>	0.2																			
工業	電子機械			<2>	0.2																			
	生産技術	2			2									3	3		6							
工業	電気回路									4	4		8											
	電気機器										2		2											
工業	電力技術											6	6		</									

各 学 科 の 概 要

機械システム科

(1) 学習内容

基本的な機械加工技術（切削・研削・塑性加工・溶接）の実習等を通して、ものづくりの楽しさ、すばらしさを実際の・体験的に学びます。また、時代に対応した制御技術（PLC制御、NC制御、ロボット制御、パソコン制御、CAD、FAシステム制御）の基礎も体系的に学びます。

(2) 主な施設設備

FA実習室	FA実習装置
制御実習室	ロボット制御実習装置、アクチュエータ実習装置、パーソナルコンピュータ、自動制御実習装置
NC実習室	NC旋盤、CAD/CAMシステム、パソコンネットワークシステム、3Dプリンタ
精密加工実習室	マシニングセンタ、レーザー加工機
機械加工実習室	旋盤、NCフライス盤、平面研削盤、帯のこ盤、直立ボール盤、高速切断機、歯切り盤、ホブ盤
鋳造実習室	溶解炉
溶接実習室	電気溶接機、ガス溶接機、TIG溶接機
塑性加工実習室	シャー、ポンチングマシン、折曲げ機
仕上組立実習室	定盤、万力、卓上ボール盤、曲げ機
試験計測実習室	硬さ試験機、引張試験機、衝撃試験機、顕微鏡、エアマイクロメータ
原動機実習室	自動車分解・組立用エンジン
電気実習室	電源装置、発振器、デジタル回路計、オシロスコープ、シーケンス制御作業受検対策ユニット
製図室	製図台

化学創造科

(1) 学習内容

化学創造科では3年間を通して化学の基礎・基本、そして技術力を磨きます。2年次にはクラス全員で、国家試験でもある技能検定（化学分析）に挑戦しています。3年次の課題研究では、3年間で学んできた知識と技術をいかし、環境問題や近代技術への課題解決に取り組んでいます。

(2) 主な施設設備

化学分析実習室	電気定温乾燥機、ホットプレート、電気炉、ドラフトチャンバー
物理化学実習室	高温電気炉、pHメーター、恒温水槽、屈折計、スラリー真空攪拌機、ハンディプレス
機器分析実習室	光電比色計、電導度滴定装置、赤外分光分析装置、自動滴定装置 高速液体クロマトグラフ分析装置、ガスクロマトグラフ分析装置、紫外可視分光光度計 燃料電池実験実習装置一式
工業試験実習室	超純水製造装置
天秤室	精密電子天秤
情報化学実習室	パーソナルコンピュータ
単位操作実習室	粉碎機、伝熱試験装置、ふるい振とう機
工業微生物実習室	バイオテクノロジー実習装置
製造化学実習室	ドラフトチャンバー
プラント実習室	ワックスプラント実験装置、ボイラー、ファインセラミック実験装置
製図室	製図台

産業デザイン科

(1) 学習内容

福井県は主要産業であるテキスタイルのほか眼鏡や機械、化学、電気、電子部品など多くの産業から成り立っています。そこに地域との協働を通して県内産業の発展にデザインで貢献するために新たなデザインやビジネスの可能性を見出す取り組みをします。また、その成果を情報発信するための学習もします。3年間の集大成として、3年生の3学期に福井県立美術館で卒業作品展を開催し、学習の成果を発表します。

(2) 主な施設設備

ビジュアルデザイン実習室	画架、各種石こう像、教材提示装置、大型乾燥棚、デザイン机
基礎デザイン実習室	大型乾燥棚

デザイン計画実習室	iMac、大判(B0)プリンター、スキャナ・コピー機能付カラーインクジェットプリンター、デジタルビデオカメラ、デジタルカメラ、液晶プロジェクター
印刷実習室	紗張り機、焼付け機、転写機、乾燥機、写真焼付け機
工芸実習室	標準染色試験機、蒸し器、乾燥機、無製版プリントシステム、製氷機
造形実習室	手織機、ボール盤、万力、木工旋盤、帯のこ盤、糸のこ盤
プロダクトデザイン実習室	細幅織機、デジタル天秤、検燃器、顕微鏡
製図室	ドラフター付製図台

電子電気科

(1) 学習内容

電気理論・電子回路・電気機器・発送配変電、及び製図の基礎・基本を習得するとともに、電気実習・課題研究などで、基礎的な実験実習からコンピュータ制御によるシーケンス制御や高電圧発生装置による電気材料試験などの先端技術についても学び、広く産業技術に応用できる電気技術者としての能力を身につけます。

(2) 主な施設設備

工作工事实習室	ボール盤、電気溶接機、高速切断機、帯のこ盤、シャー、コーナーシャー、糸ノコ盤、コンプレッサ
パソコン制御実習室	アームロボット実習装置、パーソナルコンピュータ、液晶プロジェクタ、マイクロシーケンサ実習装置、レーザー加工機、3Dプリンタ、エレベータ実習装置
計測実習室(1)	ブリッジ、検流計、抵抗器、インダクタンス、コンデンサ、直流電位差計、接地抵抗計、発振回路実習装置、低周波増幅回路実習装置
計測実習室(2)	電圧計、電流計、電力計、磁束計、位相計、力率計、周波数計、ひずみ率測定器、LCRメータ、電界強度測定器、マイクロ波実習装置、パルス回路実習装置、ロジック回路実習装置、光通信実習装置、変復調回路実習装置
計測実習室(3)	直流電源装置、発振器、オシロスコープ、デジタルマルチメータ、周波数カウンタ、音響実習装置
電気機器実習室	シリコン整流器、負荷装置、旋盤、誘導電圧調整器、変圧器、電動機、発電機、動力計
電力応用実習室	高電圧試験装置、シーケンス実習装置、電力量計、絶縁抵抗計、模擬送電線実習装置、デジタルオシロスコープ

情報工学科

(1) 学習内容

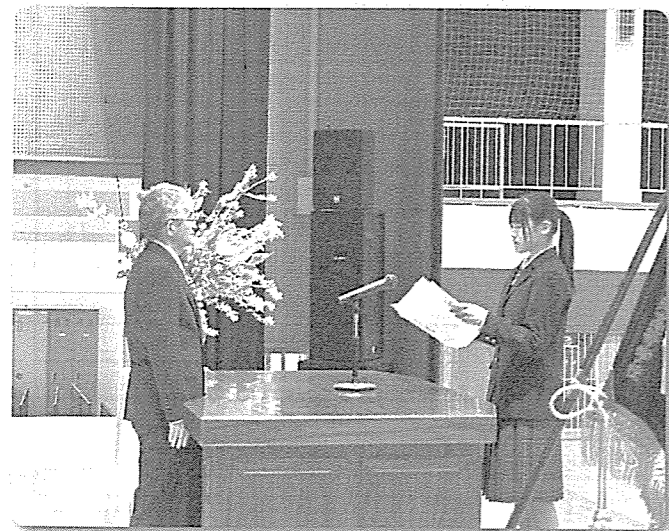
「ICTのスペシャリスト」を目指すために、情報分野全般を学習します。コンピュータのハードウェア技術やソフトウェア技術をはじめ、数多くの言語を扱うプログラミング技術、電気の基礎や電子部品などの制御技術、セキュリティを学ぶコンピュータシステム技術、ネットワークに欠かせない通信技術など、基本的な仕組みから応用的な内容まで幅広く学習していきます。

(2) 主な施設設備

サーバ室	ファイルサーバ、クライアント管理サーバ、メールサーバ、ウェブサーバ、ネットワーク関連機器、大型カラーインクジェットプリンタ、カラーレーザープリンタ
パソコン実習室	生徒実習用パーソナルコンピュータ40台 OS:Windows 10 Enter prise 2016 LTSB、個別学習機器システム(SKYMENU)、カラーレーザープリンタ1台、モノクロレーザープリンタ4台、教師用パーソナルコンピュータ1台、3Dプリンタ(FDM)フルカラー3Dプリンタ、3Dスキャナ
電子計算機室	生徒実習用パーソナルコンピュータ20台 OS:Windows 7 professional sp1、教師用パーソナルコンピュータ1台、ページプリンタ3台、インクジェットプリンタ1台、大型カラーインクジェットプリンタ1台、スキャナ、シーケンス制御作業受検対策ユニット20台、電子黒板
総合実習室(第1)	半導体素子実験装置、パルス回路実習装置、自動制御実習装置(ロボット)
電気実習室	電流計、電圧計、電子電圧計、回路計、検流計、電力計、磁束計、電源装置、発振器、抵抗器、インダクタ、コンデンサ、ブリッジ、電位差計、オシロスコープ
総合実習室(第2)	生徒実習用パーソナルコンピュータ9台 OS:Windows 10 Enter prise 2016 LTSB、教師用パーソナルコンピュータ1台、自作パソコン、スキャナ、小型3Dプリンタ、ページプリンタ1台、カラーレーザープリンタ1台、発表用ラップトップパソコン2台 OS:Windows 10 Professional (機械システム科の施設・設備も共用)



学校行事風景



▲ 入学式



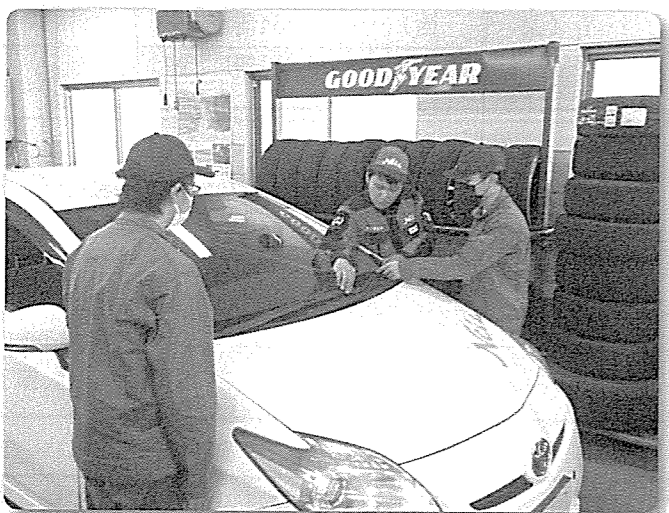
▲ 強歩大会



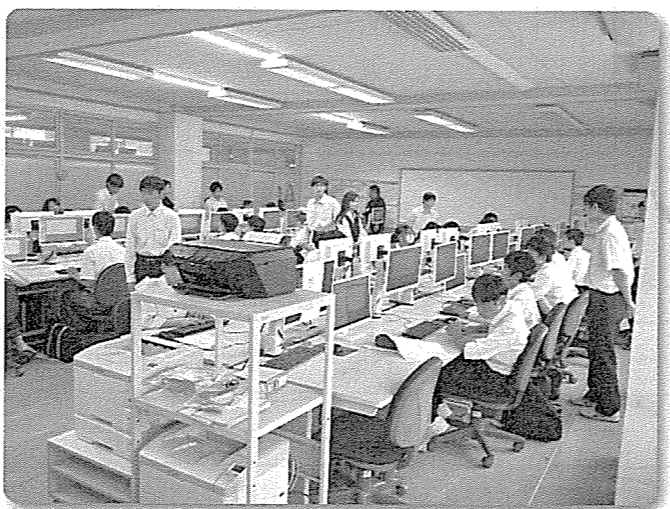
▲ 春季総体



▲ 球技大会



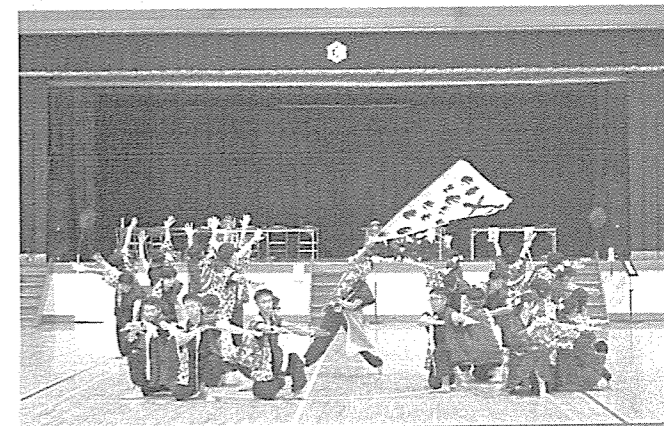
▲ インターンシップ



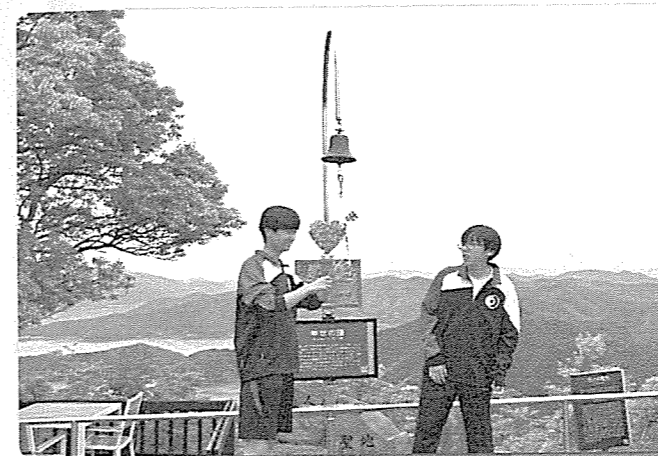
▲ 体験入学



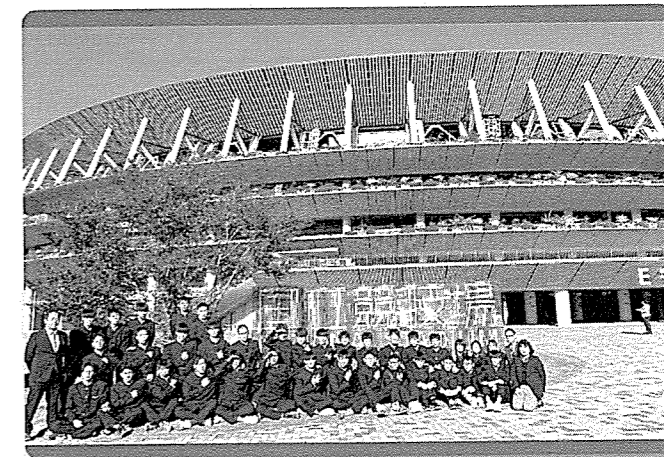
▲ 文化祭



▲ 体育祭



▲ 遠足



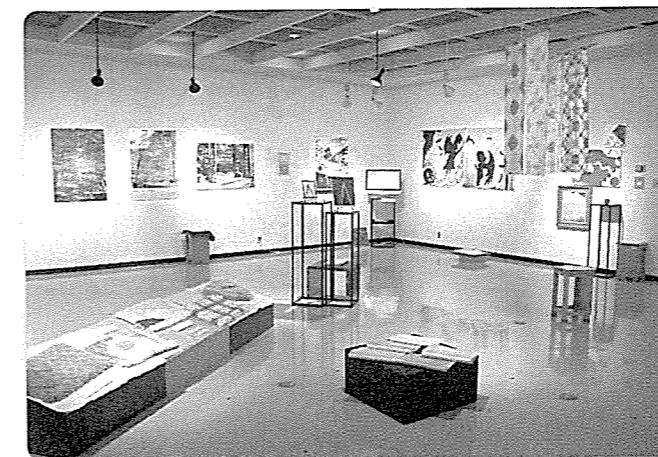
▲ 修学旅行



▲ 課題研究発表会



▲ 産業技術探究課題解決学習発表会

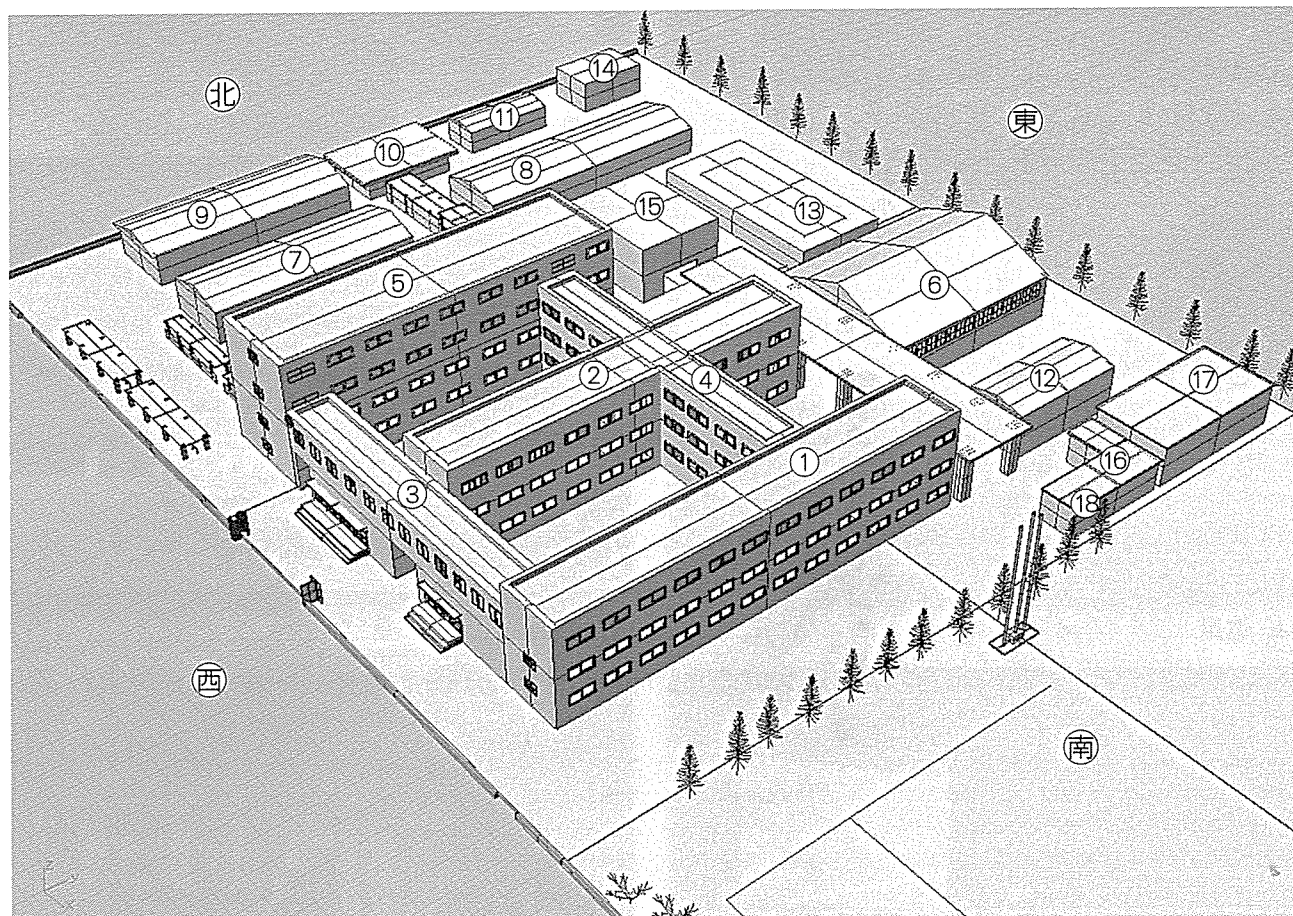


▲ 卒業作品展



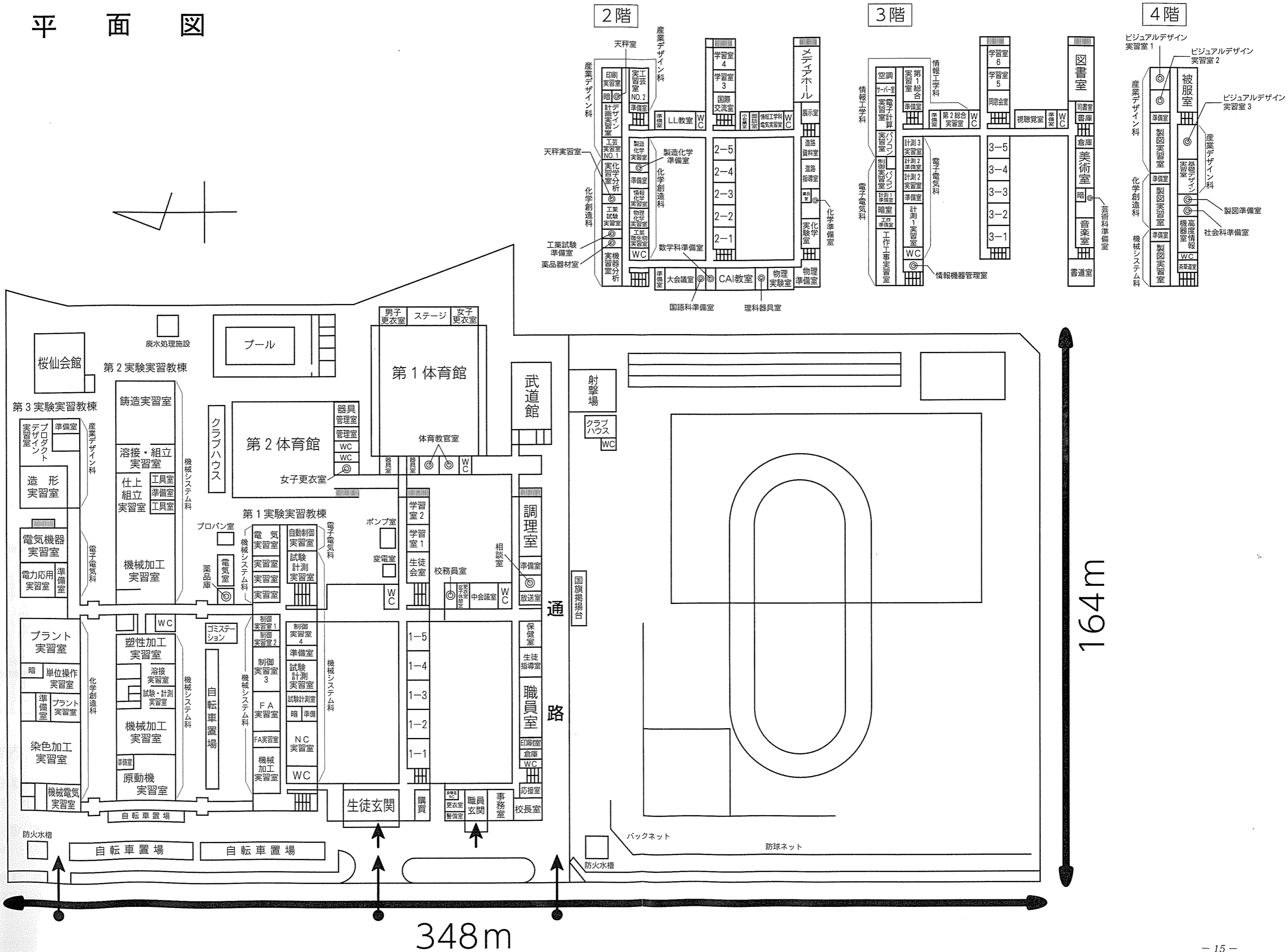
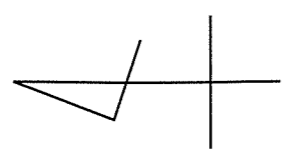
▲ 卒業証書授与式

鳥 瞰 図



- | | | |
|------------|---------------------|----------|
| ① 管理・特別教棟 | ⑦ 第2実験実習教棟（機械システム科） | ⑬ プール |
| ② 普通教棟 | ⑧ 第2実験実習教棟（機械システム科） | ⑭ 桜仙会館 |
| ③ 特別教棟 | ⑨ 第3実験実習教棟（化学創造科） | ⑮ 第2体育館 |
| ④ 特別教棟 | ⑩ 第3実験実習教棟（電子電気科） | ⑯ クラブハウス |
| ⑤ 第1実験実習教棟 | ⑪ 第3実験実習教棟（産業デザイン科） | ⑰ 射撃場 |
| ⑥ 第1体育館 | ⑫ 武道館 | ⑱ 外トイレ |

平面図



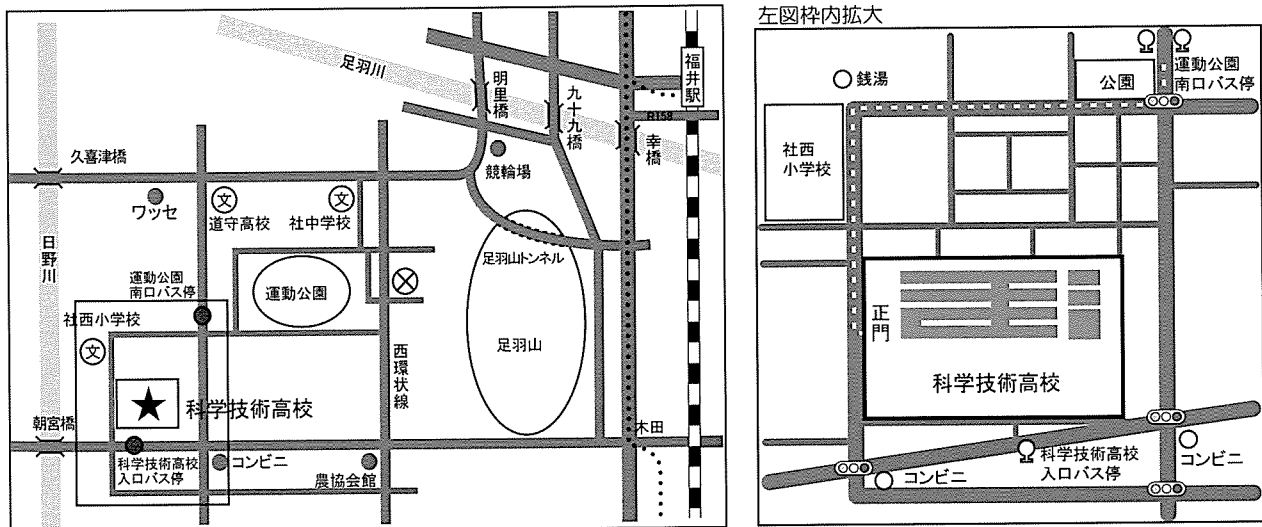
施設概要

土地 58,277.29㎡
建物

名称	延面積(㎡)	建設年度
管理・特別教棟 普通教棟	7,543.42	昭和49年度(1974)
第1体育館	1,810.12	昭和50年度
第2体育館	1,348.23	昭和61年度(クラブハウス・廊下)
武道館	333.96	昭和51年度
実験実習教棟	10,770.92	昭和50・51年度
渡り廊下	435.87	
自転車置場	531.96	昭和49.50.51.56.62年度
プール附属舎	72.36	昭和52年度
桜仙会館	452.04	昭和59年度
射撃場	252.00	平成2年度(1990)
その他	318.21	
計	23,869.09	

学校の位置

◆地図



◆交通案内

- 福井駅④ 運動公園線(道守高校先回り) … 約15分
70系統 社北小学校前・道守高校経由
- 福井駅⑤ 運動公園線(ベル前先回り) … 約25分
71系統 ベル前・有楽町経由
- 福井駅④ 清水グリーンライン … 約25分
74系統

運動公園南口バス停

徒歩10分

科学技術高校入口バス停

徒歩3分

科学技術高校

